

一般社団法人日本映像アーキビスト協会 2020 年度事業報告書

2020 年度の当協会の事業等に報告いたします。

1. 映像アーカイブに関する調査研究(研究会、ワークショップ等の実施)、映像アーカイブに関する刊行物(教科書、ハンドブック、用語集、ジャーナル、ニューズレター、映像コンテンツ等)の発行、映像アーキビストの社会的認知に関する普及啓発(会員間のネットワーク構築、映像アーキビストの認知向上を目的とする広報活動等)など

- 公式ホームページの充実とメッセージプラットフォームを用いた交流の試行

- (1) 各研究会(分科会) ⇒「ボーンデジタル映画の保存(デジタル映画保存研究会)」や「作品固有の ID を付与する取り組み(ナショナルフィルムグラフィック研究会)」、「フィルム環境継続研究会」などの発足を検討。

本年度はコロナ禍の影響で事業全体をウェブ中心に展開しました。各分科会構築についてもウェブ上での発足を念頭に、メッセージプラットフォームである slack を導入しました。来年度も継続していきます。

- (2) オーラルヒストリー⇒映像アーカイブに携わってきた人たち、映像アーカイブとの関連が深い仕事をしてきた人たちへの聞き取りを実施・蓄積・公開していくプロジェクト。後々の書籍化も検討。

本年度はコロナ禍により、対面形式の新たなインタビューの実施が難しかったため、手始めとして、当会の前身「日本映像アーキビストの会(仮)」が過去に企画したトークセッションの採録と HP 上での公開を行いました。来年度も継続していきます。

参考:「映画の復元と保存に関するワークショップ」の記録:「映像アーカイブのための資金調達の壁を突破する!」(2019 年)

<https://www.jamia.jp/2021/01/22/%e3%83%88%e3%83%bc%e3%82%af%e3%82%bb%e3%83%83%e3%82%b7%e3%83%a7%e3%83%b3%e3%80%8c%e6%98%a0%e5%83%8f%e3%82%a2%e3%83%bc%e3%82%ab%e3%82%a4%e3%83%96%e3%81%ae%e3%81%9f%e3%82%81%e3%81%ae%e8%b3%87%e9%87%91/>

2. 映像の文化的、芸術的、歴史的及び教育的価値に対する社会的認識ならびに関心の向上促進

- 基金設置の検討

当法人の事業と映像アーカイブ事業を支えるための資金調達の方法として、当法人による基金設置の可能性について、具体的な行動に至るまでの検討はできなかった。

3. 映像アーカイブ機関ならびに隣接機関との連携、協力

● 映画の復元と保存に関するワークショップ 2020(仮称)への協力

「映画の復元と保存に関するオンラインワークショップ 2021」(主催:同ワークショップ実行委員会、開催:2021年1月23日)に、パートナーズの一員として参加し、広報協力などを行いました。ワークショップの参加申請者は450名、うち当日の視聴者数は393名(最大瞬間視聴者数は327名)。なお、2月1日より1週間実施したYouTubeによる見逃し配信には、計550回の再生がありました。

以上

一般社団法人日本映像アーキビスト協会 2021 年度事業計画書

1. 映像アーカイブに関する調査研究～

- 公式ホームページの充実とメッセージプラットフォームを用いた交流の試行
 - (1) 各研究会(分科会)⇒メッセージプラットフォームである slack を活用し、各会員が自発的に各種研究会を発足、運営可能とすべく活動を行う。映画保存に関する技術的なノウハウやベストプラクティスについて共有を行う研究会や、日本における映画・映像保存法成立の可能性を考える勉強会等の発足を検討
 - (2) オーラルヒストリー⇒本年度も当会もしくは会員が関わるイベント等の採録・公開を行う。また、映像アーカイブに携わる人々のオーラルヒストリーについては現在、対象者の検討を行っており、本年度から本格的にインタビューを始める。
- セミナー、ワークショップの企画と実施の検討
会員(ないしは一般への公開の可能性を含めた)に対する設立後初のセミナーあるいはワークショップの開催を検討する。ただし、今年度はコロナ禍の影響が見通せないで、ウェビナーなど開催方法も併せて検討する。
- アーカイブ・ツーリズムの企画と実施の検討
映像アーカイブ活動の現場や映像アーカイブと重要な関わりを持つ場所を視察し、活動に携わる映像アーキビストや関係者との交流を図るために、アーカイブ・ツーリズムの企画を検討する。本年度は、オンラインによるツアーの可能性も検討する。

2. 映像の文化的、芸術的、歴史的及び教育的価値に対する社会的認識ならびに関心の向上促進

- 基金設置を含めたファンドレイジングの方法の調査と検討
当法人による基金設置を含め、映像アーカイブ活動の立ち上げと継続を支えるためのファンディングとして、公的支援やメセナ等の民間支援の可能性を検討するために、情報収集を行う。

3. 映像アーカイブ機関ならびに隣接機関との連携、協力

- 映画の復元と保存に関するワークショップ 2021(仮称)への協力

4. 2021 年度定時総会の開催

- 当協会の設立総会として、2021 年度定時総会を開催する。なお、今年度はコロナ禍の影響もあり、オンラインによる総会開催の可能性を検討する。

以上